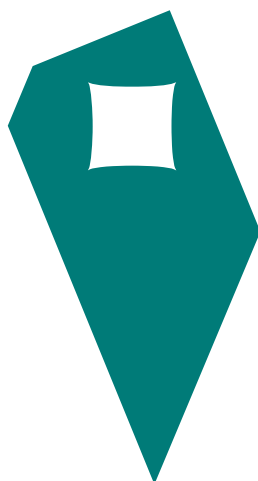


第7回 **プラチナ大賞**
募集要項



—新たな可能性を創造し、豊かで快適な社会を目指して—

1 「プラチナ大賞」の目的

「プラチナ大賞」は、イノベーションによる新産業の創出やアイデアあふれる方策などにより社会や地域の課題を解決し、「プラチナ社会」の姿を体現している、または体現しようとしている全国の自治体や企業などの取り組みを賞として称え、これらを「プラチナ社会」のモデルとして広く社会に発信することを通じて、「プラチナ社会」の実現に向けたビジョンや具体的なアクションへの理解・浸透を図るものです。2013年に第1回を開催し、今回で第7回目を迎えます。

プラチナ大賞運営委員会では、「プラチナ社会」の理念や具体的な取り組みへの理解・浸透をより深めるとともに、いまだ世に知られていない先進的な取り組みや多種多様な取り組みを広く募集し、社会に向けて発信していきたいと考えています。

2 「プラチナ社会」とは

人口減少、急激に高齢化する社会、地球温暖化等、課題先進国である日本では、老朽化していく都市インフラ、活力を失う地方の市街地、荒廃する農地、財政を圧迫する社会保障全般、人材養成の困難とその海外流出、新たな負担となった地球環境への対応など、さまざまな課題が生じています。

これらの課題は物質的な豊かさを達成した先進国ならではのものであり、これらを日本が「課題先進国」としていち早く乗り越えることは、一方で新たな社会システムの構築、新しいビジネスの創造に繋がる、大いなる可能性に満ちた挑戦であるとも言えます。私たちは「課題解決先進国」として日本が目指すべき社会を「プラチナ社会」と定義しました。

・エコロジーで

(人間にとって快適な自然環境の再構築、環境との調和・共存)

・資源の心配がなく

(エネルギー効率の向上、自然エネルギー活用、物質循環システムの構築)

・老若男女が全員参加し

(生涯を通じた成長、社会参加の機会創造、健康で安心して加齢できる社会)

・心もモノも豊かで自己実現が目指せる

(文化・芸術に彩られた暮らし、飽和・停滞を打破する「限界を超えた成長」)

・雇用がある社会

(イノベーションによる新産業の創出)

「プラチナ社会」の姿は、このような条件を備えたうえで地域ごとの個性的様相を帯びるものであり、その実現のためには各地域独自の自立的かつチャレンジングな取り組みが重要となります。

3 募集内容

1) 応募主体

プラチナ構想ネットワークの自治体会員、法人会員、ベンチャー企業会員、NPO 会員、特別会員を応募の対象とします。

また、非会員は会員と共同で応募が可能です。

2) 募集対象

以下のコンセプトに沿った「取り組み」を広く募集します。

◎「プラチナ社会」の必要条件、すなわち①「エコロジーで」②「資源の心配がなく」③「老若男女が全員参加し」④「心もモノも豊かで自己実現が目指せ」⑤「雇用がある社会」のすべて、またはこれらの一部の実現を目指して行われている取り組みであること

◎「プラチナ社会」の必要条件を踏まえ、特定分野あるいは複数分野の課題解決に繋がる具体的な取り組みであること

※同一会員による複数の応募が可能です。

※また過去にご応募いただいた取り組みについても、その進捗や最新の状況を加味していただいた上で、再度ご応募いただくことも可能です。

4 応募方法

応募資料（所定の応募用紙および参考資料）をプラチナ大賞運営委員会事務局宛にメール添付にてご提出ください。

E-mail : pt-taishou@platinum-network.jp

その際、メールのタイトル（件名）は、『「プラチナ大賞」応募書類送付 【団体名】』としてください。

なお、募集要項並びに応募用紙はプラチナ構想ネットワークのホームページからダウンロードできます。

<http://www.platinum-network.jp/pt-taishou2019/index.html> （5/20 オープン）

5 応募先・問い合わせ先

プラチナ大賞運営委員会

[事務局] プラチナ構想ネットワーク事務局 担当：荒船、梅澤、末原

TEL : 03-6858-3546

E-mail : pt-taishou@platinum-network.jp

6 応募締切

2019年7月19日(金) 17時 必着

7 審査

1) 審査基準

「プラチナ大賞」審査の主なポイントはP5のとおりです。

2) 審査方法

審査の手順は以下のとおりです。

一次審査：応募資料（応募用紙と参考資料）による書類審査

最終審査：会員ご本人等によるプレゼンテーションを実施のうえ審査

※一次審査・最終審査の結果は、プラチナ構想ネットワークのホームページにて公表します。

3) スケジュール

募集開始 2019年5月20日(月)

応募締切 2019年7月19日(金) 17時 必着

一次審査 2019年9月18日(金)

最終審査 2019年11月5日(火)

4) 審査委員

審査委員は下表のとおりです。(50音表記)

役職	氏名(敬称略)	所属
委員長	吉川 弘之	元東京大学 総長、東京大学 名誉教授 産業技術総合研究所 最高顧問、日本学術振興会 学術最高顧問
副委員長	秋山 弘子	東京大学名誉教授 一般社団法人高齢社会共創センター センター長
委員	石戸 奈々子	NPO 法人 CANVAS 理事長 慶應義塾大学 教授
委員	岸本 一朗	株式会社フジテレビジョン 専務取締役
委員	西條 都夫	株式会社日本経済新聞社 編集委員兼論説委員
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	月尾 嘉男	東京大学 名誉教授
委員	西村 幸夫	神戸芸術工科大学 教授
委員	増田 寛也	東京大学公共政策大学院 客員教授
委員	山田 メユミ	株式会社アイスタイル 取締役

8 各賞・表彰

1) 表彰

2019年11月5日(火)開催予定の「第7回プラチナ大賞 最終審査発表会・表彰式」にて行います。
[会場：イイノホール（東京都千代田区内幸町2-1-1）]

2) 賞の内訳

- ・大賞・総務大臣賞 1件 [賞状及び副賞（トロフィー）]
- ・大賞・経済産業大臣賞 1件 [賞状及び副賞（トロフィー）]
- ・優秀賞 10～13件程度 [賞状及び副賞（トロフィー）]

3) その他

各賞受賞自治体は、「プラチナシティ」として認定されます。

<http://platinum-network.jp/platinum-city/index.html>

9 応募上の留意事項

- ◎応募用紙は最大10ページ程度までとしてください。
- ◎取り組みの内容を把握・理解するうえで必要な参考資料がある場合は、最大2点までとし、A4サイズの電子データに加工のうえ、応募用紙とあわせて送付してください。
- ◎画像等を参考資料の一部として用いることも可能です。
ただし、第三者の著作権、肖像権、プライバシー等を侵害することのないよう十分ご留意ください。
- ◎ご応募いただいた取り組みの内容は、「プラチナ構想ハンドブック」等、プラチナ構想ネットワークの活動において活用させていただくことがあります。あらかじめ、ご了承ください。
- ◎ご応募いただいた取り組みの内容について、ヒアリングを行う場合があります。その際は、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

以上

「プラチナ大賞」審査の主なポイント

1) 共通審査基準

「プラチナ社会」を体現している、または体現を目指している取り組みであることを前提として、以下の①～⑥のポイントに着眼して総合的に審査します。

① 社会的ニーズへの対応

・大きく変化する社会的ニーズ（潜在的ニーズを含む）を的確に捉えているか。

② 創造性・革新性

・アウトプットや取り組みのプロセスに新しい発想や工夫がみられるか。

・イノベーションや新産業の創出などの波及効果が期待できるか。

③ 実効性

・当該取り組みは、課題解決策となっているか。

・社会・地域・産業等に対する効果があったか、あるいは期待できるか。

④ 協働の実現性

・実現可能な取り組みの推進体制になっているか。

・産（企業）官（自治体）民（市民）学（大学等）などの複数のステークホルダーが連携し、それぞれが持てる力を十分に発揮できるような体制・仕組みとなっているか。

⑤ 持続可能性

・当該取り組みを継続・発展させるうえで、安易に公的資金に頼ることのない運営を志向し、持続可能な設計・仕組みとなっているか。

・当該取り組みを安定的に継続・発展させるための体制・仕組みとなっているか。

⑥ 展開可能性

他の地域・企業・産業等の領域に当該取り組みの普及・展開があったか、あるいは期待できるか。

2) 各賞選考基準

以下の観点により各賞を選考します。

① 大賞

◎応募取り組みの中で、「プラチナ社会」のモデルの体現、実現（可能性含む）という観点において、最も優れていると審査された取り組み

② 優秀賞

◎「プラチナ社会」のモデルの体現、実現（可能性含む）という観点において、優秀、または突出していると審査された取り組み

③ 総務大臣賞

◎地域の特徴を活かした取り組みであること

◎取り組みの成果として、新たな価値を生み出すようなコミュニティの活性化や社会システムの構築などに係る効果を認められるか、または認められる見込みがあるもの

④ 経済産業大臣賞

◎取り組みを実装する場があり、地方自治体と民間事業者等とのパートナーシップにより実現されていること

◎社会の課題を解決する革新的なビジネスモデルを提示していること

◎取り組みの成果として、商工業等の発展や雇用創出に係る効果を認められるか、または認められる見込みがあること

以上

(参考) 第6回プラチナ大賞受賞団体

◆◆ 大賞・総務大臣賞

養父市	養父市の新たな挑戦！国家戦略特区を活用した新たな自家用有償旅客等運送事業「やぶくる」
-----	--

◆◆ 大賞・経済産業大臣賞

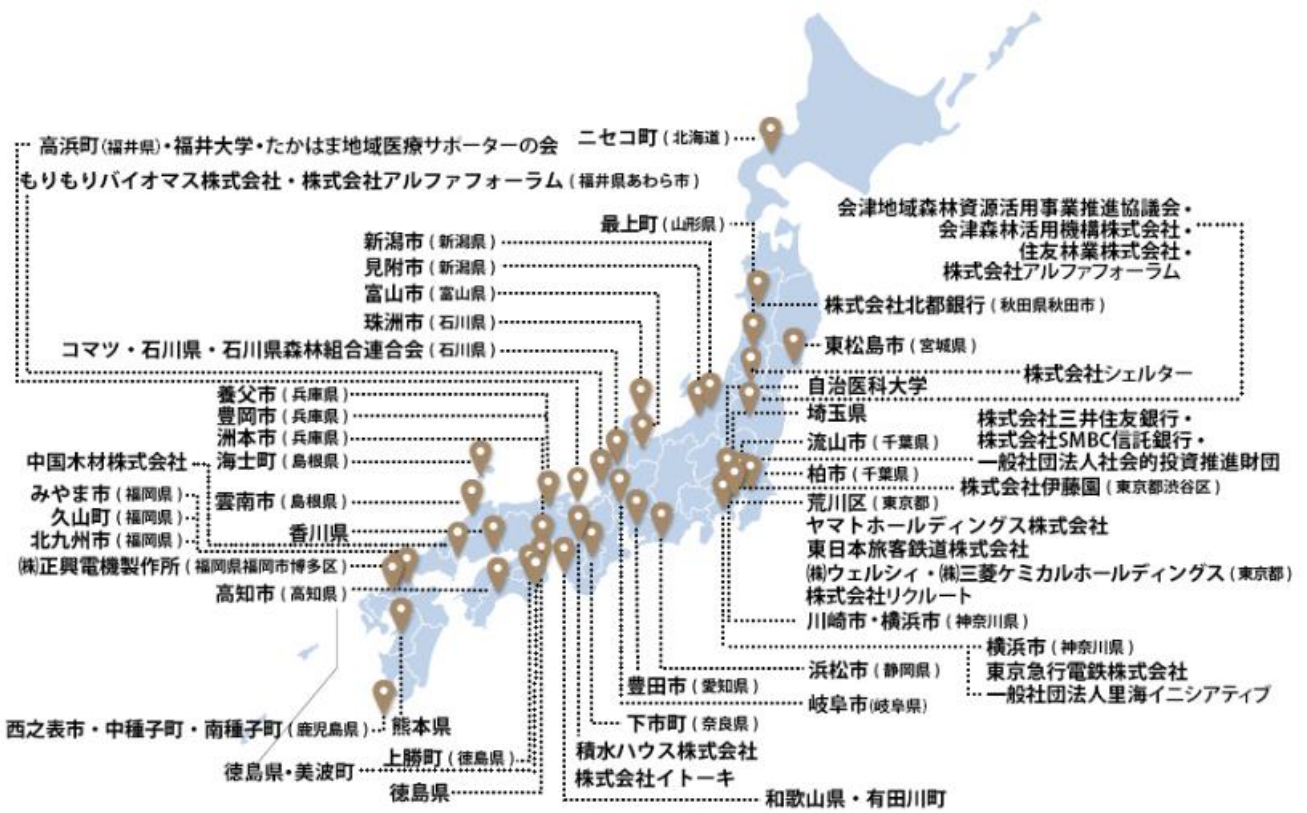
(株)シエルター	「木造都市づくり」への挑戦 ー都市（まち）に森をつくるー
----------	------------------------------

◆ 部門賞

【ライフデザイン賞】 徳島県/美波町	美波町における「ICT等を活用した地域課題解決による好循環なまちづくり」
【新しい時代のインフラ賞】 香川県	全国初！県域を対象とした水道広域化の取り組み
【事業革新賞】 中国木材(株)	低炭素・循環型社会実現のために林業再生を目指して一日向モデル（大型製材・加工と大型木質バイオマス発電の取り組み）ー
【グッドスタート賞】 岐阜市	デジタルネイティブ世代へのプログラミング教育 ～日本の周回遅れを取り戻す～
【全員参加の地域づくり賞】 高浜町/福井大学/ たかはま地域医療サポーターの会	“医住”から“移住”へ ～地域総出で支える安心医療のまちづくり・10年の軌跡～
【きらり構想賞】 （一社）里海イニシアティブ/ 吉澤保幸氏（プラチナ構想ネットワーク特別会員）	里海よるこんぶプロジェクト
【グッドスタート賞】 (株)リクルート	(株)リクルートと北九州市の連携協定による女性就業支援 ～一人ひとりが自分らしく働ける社会の実現に向けて～
【パートナーシップ賞】 (株)三井住友銀行/(株)SMBC信託銀行/ （一社）社会的投資推進財団	ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）を活用した社会的課題解決 ～糖尿病性腎症重症化予防事業～
【次世代育成賞】 荒川区	「読書を愛するまち・あらかわ」の展開
【次世代育成賞】 埼玉県	子供たちの「伸び」を見つめ、「やる気」を引き出す 埼玉県学力・学習状況調査
【地域パートナーシップ賞】 会津地域森林資源活用事業推進協議会/ 会津森林活用機構(株)/住友林業(株)/ (株)アルファフォーラム	13市町村広域連携による森林資源フル活用事業
【地域パートナーシップ賞】 東日本旅客鉄道(株)秋田支社	ノーザンステーションゲート秋田プロジェクト

※順不同

(参考) これまでの受賞団体





プラチナ
構想ネットワーク

〈主催〉プラチナ構想ネットワーク（会 長：小宮山宏）

プラチナ大賞運営委員会 （委員長：増田寛也）

〈後援〉総務省、経済産業省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、特別区長会